

うきは市まちづくり市民アンケート調査結果概要

令和 6 年 9 月、うきは市第 3 次総合計画前期基本計画及び第 3 期総合戦略の策定に当たり、市民向けにアンケートを実施しました。以下ではその調査結果の概要を示します。

(1) 調査結果概要

- ・回収率が前回のアンケートと比較して上昇しました。

項 目	内 容
調査対象	18 歳以上の市内在住者
配布数	2,000 票
調査方法	調査票郵送ならびに WEB 調査
調査時期	令和 6 年 9 月
調査地区	うきは市市内全域
有効回収数	777 票
回収率	38.9% (前回 36.8%)

(2) 定住意向

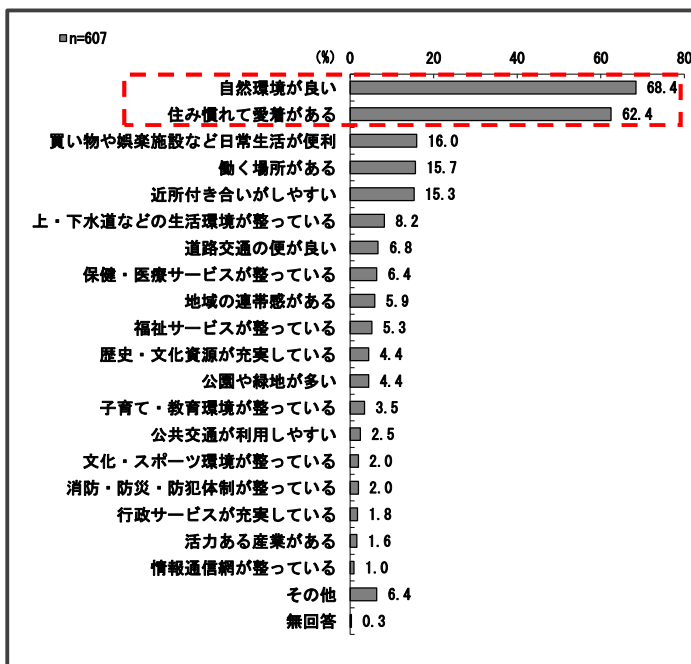
・「住み続けたい」と回答した人、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した人を合計した「住み続けたい人」は前回の 75.4% から 78.0% へ上昇しました。ただし、「住み続けたい」人は減少し「どちらかといえば住み続けたい」人が増加したことから、積極的な定住意向を持つ市民は減少する中、消極的な定住意向を持つ人が増えたと言う事ができます。

項目	今回	前回
「住み続けたい」	39.6% \ 前回より低下	42.4%
「どちらかといえば住み続けたい」	38.4% / 前回より上昇	32.8%
「どちらかといえば住み続けたくない」	15.7% \ 前回より低下	17.3%
「住み続けたくない」	2.8% \ 前回より低下	3.3%

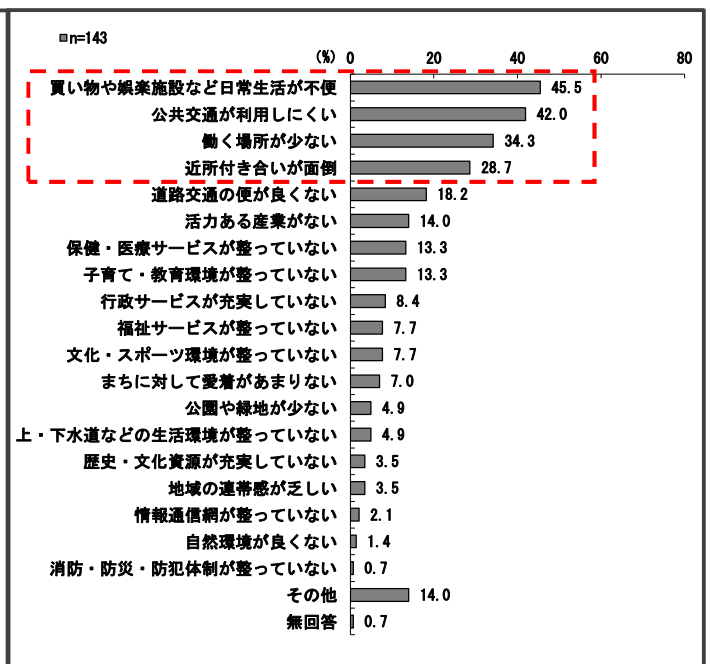
(3) 住み続けたい理由と住み続けたくない理由

「住み続けたい理由」の 1 位は「自然環境が良い (68.4%)」、「住み続けたくない理由」の 1 位は「買物や娯楽施設など日常生活が不便 (45.5%)」となっています。

住み続けたい理由



住み続けたくない理由



(4) その他調査項目のリスト（属性（性別、年齢、居住地区等）は掲載を省略）

満足度に関する調査項目

1 すべての人の人権が大切にされている	15 多様な人材が活躍できる雇用環境	29 上下水道の整備に取り組んでいる
2 自治協議会等の活動が活発	16 うきはブランドの浸透	30 山や川の自然環境が良好である
3 男女共同参画社会を実現している	17 地域の見守りと気づきの浸透	31 清潔で安全な日常生活が送れている
4 安心して子どもを産み育てている	18 高齢者が地域で生き生きと暮らす	32 ごみの減量やリサイクルが進んでいる
5 安全な環境で生きる力が身につく	19 障がい者が安心して暮らしている	33 かかりつけ医や広域的医療の整備
6 生涯を通じた学習が盛んである	20 ひとり親家庭生活困窮者の暮らし	34 救急・災害時の市民の安心度が高い
7 青少年が健全に育成している	21 健康で生きがいをもった暮らし	35 犯罪が減少している
8 市民が芸術文化に親しんでいる	22 安全・安心な保証が充実	36 交通事故が減少している
9 市民がスポーツ活動に取り組んでいる	23 バランスのとれた土地利用	37 消費者トラブルの被害が減少している
10 様々な交流が活発に展開されている	24 美しい町並みと景観の形成	38 市政に参画する市民が増加している
11 新しい企業の進出が活発化している	25 身近な道路が安全に利用できている	39 健全な行財政運営が行われている
12 商工業の持続的な経済成長の促進	26 バスや鉄道が便利に利用できる	40 市民が市政情報等を活用している
13 農林業の担い手が増えている	27 街なかで快適な暮らしができています	41 周辺市町とネットワークが図られている
14 多くの観光客でにぎわっている	28 公園や緑地が整備されている	

住民の「意識と取組」に関する調査項目

1 運動・スポーツの日数	11 ボランティア等の活動をしたいか	21 子育てを地域で支え合う雰囲気
2 健康管理の取組	12 市政情報の入手経路	22 地域の子はのびのび育つか
3 老後に不安を感じるか	13 市とまちづくりについて考えたいか	23 地域の自然環境は守られているか
4 自然を守るためなら不便でもいいか	14 仕事と生活の両立ができていますか	24 住んでいる地域に活気はあるか
5 環境に配慮した生活をしているか	15 異なる世代との付き合いがあるか	25 観光等の訪問客の増加はあるか
6 3R 運動をしているか	16 頼りになる知り合いが近所にいますか	26 自慢した地域の風景や名所
7 公共交通を利用しているか	17 今の生活にどれくらい満足か	27 意欲のある人が働きやすい環境か
8 災害時の避難場所を知っているか	18 去年の今頃と比較したあなたの生活	28 挑戦する人を応援する地域課
9 職場や地域での防災訓練への参加	19 高齢者や障がい者が暮らしやすいか	
10 市の講座や生涯学習活動への参加	20 市は子育て支援に積極的か	

(5) 暮らしやすさの幸福度（Well-Being（ウェルビーイング））に関する調査項目

Well-Being 指標とは、客観指標と主観指標のデータをバランスよく活用し、市民の暮らしやすさと幸福感を数値化・可視化したものです。国の「デジタル田園都市国家構想」では Well-Being の向上を目指しています。

生活環境

1 医療機関が充実している	10 子育て支援・補助が手厚い	19 心地よく歩ける場所がある
2 介護・福祉施設のサービスが受けやすい	11 子どもたちがいきいきと暮らせる	20 自慢できる都市景観がある
3 日常の買い物に不便がない	12 教育環境(小中高)が整っている	21 自慢できる自然景観がある
4 飲食を楽しめる場の充実	13 通学しやすい場所に学校がある	22 身近に自然を感じることができ
5 自宅に居心地の良い場所がある	14 行政は地域のことを真剣に考えている	23 空気や水が澄んできれいだと感じる
6 自宅付近で騒音に悩まされない	15 公共施設は使い勝手がよく便利	24 リサイクル等の環境への取組が盛ん
7 適度な費用で住居を確保できる	16 行政のデジタル化が進んでいる	25 地域の防災対策はしっかり
8 公共交通で好きな時に・所へ移動可能	17 わがわが場でデジタルサービスの利用が容易	26 防犯対策が整い治安がよい
9 楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	18 地域の雰囲気は自分にとって心地よい	27 歩道や信号が整備されていて安心

地域の人間関係

1 同じ町内に住む人たちを信頼している	5 町内に愛着を持っている	9 女性が活躍しやすい雰囲気がある
2 地域活動への町民参加が盛んである	6 町内はどんな人の意見でも受け入れる	10 若者が活躍しやすい雰囲気がある
3 困ったときに相談できる人が身近にいる	7 見知らぬ他者であっても信頼する	11 自分も身近な周りの人も楽しい気持ち
4 町内の人が困っていたら手助けする	8 町内の人の自分に対する思いが気になる	

自分らしい生き方

1 自分を好ましく感じる	4 文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	7 やりたい仕事を見つけやすい
2 身体的に健康な状態である	5 次世代に良い環境や文化を残したい	8 適切な収入を得る機会がある
3 精神的に健康な状態である	6 学びたい事を学べる機会がある	9 新たな挑戦・成長するための機会がある

地域における幸福度・満足度

1 市の暮らしの幸福度	3 市内の人の幸福度
2 現在住んでいる地域の暮らしの満足度	4 5年後の自身の幸福度